伊勢小袖

へ13
3715

絵さとよ
本小夜衣

妙吉侍者
夢相国師之法券
能修まろよ宅祇尼
天の法を欣て萬頭
朱盤とぞ云ふ
尸畏神
武将
左兵衛督
直義公帰依〜ゆひ一条堀川ま
寺と建屋基せ〜む
小原良一

十図全一九作
下

太平記 遺稿 高師直實傳 小夜衣緒言

其比貞和年間四海瓜の如く裂乱きて王道廢き武臣左馬頭源尊氏卿弓箭の長者と成て海内衛護の重任を主るといへども執權高師直師泰兄第諸士の上に跋扈し已に威權に滿ち諸侯親疎あるべき神明三宝の宜に鑒みも肖き天下災賊の人望に違ひ衆聚を八荒に集へ人を謗り讒を恐れ表の行跡をるしく見べき高美一人の私より諸人其気に稜り各怨心熾盛ふして君臣父子の道弁へぎい人の賊を蓄有りと計るの人心るとく諸らぎ各く非をもて理を蔑ふが故に企る所朱紫混淆仍て世を乱り国を持者あらといへども真実の義にあらざ宜まいることとるし偽り師直兄弟ハ省因のいとをところ

[illegible] 門前に[illegible]馬[illegible]堂上に宮人客群集し

被所順の音物諸国の名産佳者珍物山のごとく贈ることり師直奏[illegible]ふかくして遠怨深く伯州塩谷判宜の妻に懸相し恵美の結果日ごとくさまざまの術を尽きといへども志操堅一ふして師直の玉身に任せぎ師直いよく懐念を連ねその丈判文を始て終に説言を構へ無実の罪に討署る表[illegible]ども義なきどるく所直[illegible]仇は復して汚名を世挙に流をこと仮名平本と表題せ音曲の歴年に假借して戯場狂言小歌ぶハ[illegible]意味[illegible]遺格[illegible]国て今太平記の稜書を模写し全部六冊に緒罪〳〵其実を傳へんとするハ悪積を蔣〳〵大禍を生し善縁をるをこれハ祥を得るの理を述て黄八口の児童をこちひくの善種〳〵をとりのるし

門へ13
號3715
巻

以短才庸愚
行大任重職
曼乱世根本

後號鄰天王愚忠

偏因敎
高武藏守師直 懲罰

天性の淳質
ふしぎ一回
笑る眸あり

金谷千
俗の花
と恥て四方の
山風に誘れ見る首る容鯨ハ
銀漢五里の月
恥を宿して
五美の姿ハ
涙ゆべ〜

妻ふるき
かたきのうちに
つゝまれて
知る人なき
花のあるうち

温谷之妻
西之臺内侍

高岡帥直暴逆濁乱の為に寛厚の
難に遭て豈に余を墜さ
んも量まで勇壮忠
戦と尽く

一朝に
名を
青史に
只皆の石碑に倫う級隙に敬
亡きうて金谷の花と散ぬる

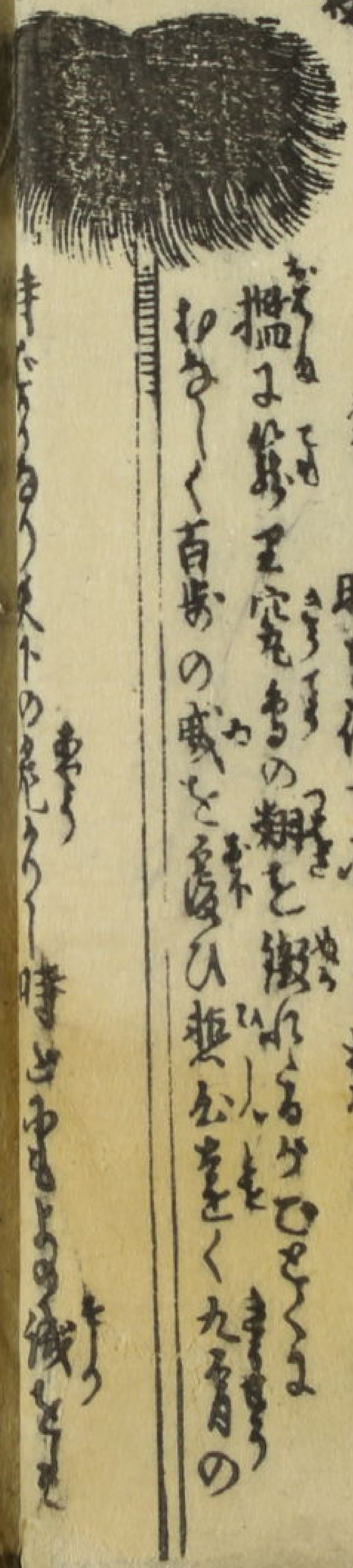
塩谷剣宦
高貞

妖吉侍者怨怪

祝融一ふして志の余れざるの私然と全くして
いつ妙吉侍者性
強怒の為に命を
ちゝまくと初まる
者天必これを福ひし
人を賊ふ者ハ天必
これを禍す
鉄槌をひきて帥直の
積悪に勢ふ輪日
業関のいくを
こゝろうるべし

北狄 鵠

暦應元年の末に四夷八蛮悉く王化を助て大軍同時におこりしかバ今ハはや聖運替けりと見へたるに北畠顕家新田義貞も不慮流矢の為に命を墜し剣奥州下向の綸命渡海の難風に放されて行方なく成しと聞へしかバ世間さそよ[illegible]おなじく結城入道の息大蔵少輔も父の遺志を背きて降人となり又芳野殿へ参りたる者も其の守る所を[illegible]の子孫如く膏血を頭に悩て[illegible]利に[illegible]属し五溪の礼儀を乱り己が賊勢なき[illegible]を此時新田の子族尚残りて隣くにまぎれてこの行末との一枝以ども猛虎の業なれバ涙眼を交て只時[illegible]



時を待てかくれおはしましけると揣に鋭王家の翅を繳れるがひそくるめかしく百歩の威を震ひ蛮夷九霄の[illegible]天下の乱れ起りし時世のなかも其の織をまた

君を虐を恣にせし末葉の氏族高家の党[illegible]能なく尊大にして乱階不次の賞に[illegible]法にあらざる[illegible]の識[illegible]ども[illegible]のなどこそ朝敵の名をかうむりて毎年天子を仰ぎ[illegible]其比天下は武徳不帰して公家あつても[illegible]月々[illegible]法司格勤の[illegible]叡慮禁裏仙洞の[illegible]も武家[illegible]して[illegible]曲[illegible]重陽の宴も[illegible]白馬踏歌の節会も[illegible]の[illegible]劔[illegible]錦中執事高[illegible]武門の指揮の[illegible]朝廷の政[illegible]も[illegible]三家の白[illegible]も[illegible]人のおに[illegible]を[illegible]五門の曲阜も[illegible]の[illegible]賄ひを[illegible]納言宰相[illegible]合を[illegible]も[illegible]をまるび[illegible]して軽慢し[illegible]公家の人々[illegible]ひも[illegible]武書をつ[illegible]折烏帽子[illegible]をあらかしそ武家の人[illegible]も[illegible]の体[illegible]あらわれて[illegible]の[illegible]武家[illegible]皆執事の[illegible]とぞ[illegible]高師直[illegible]威権[illegible]驕慢[illegible]

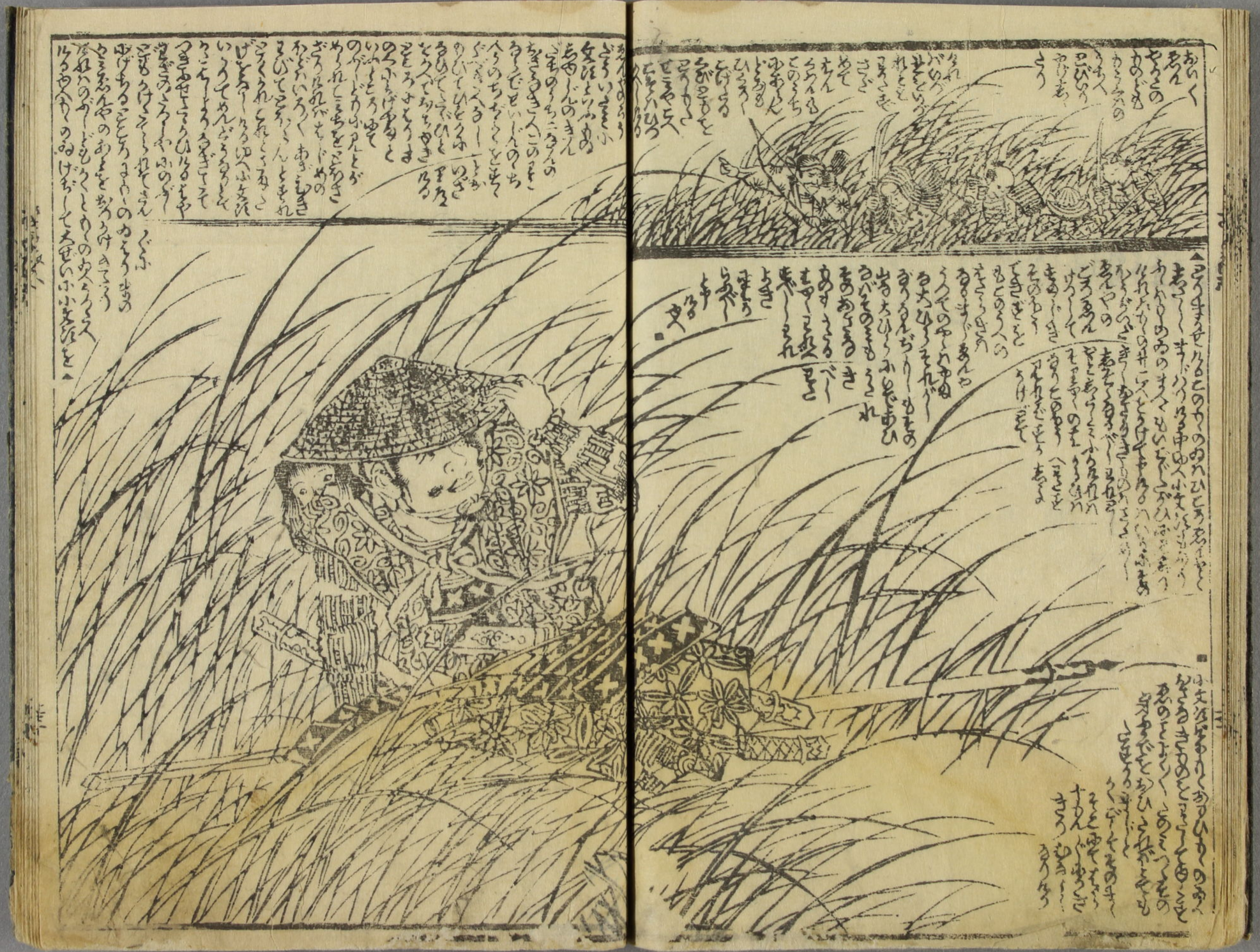
本堂建

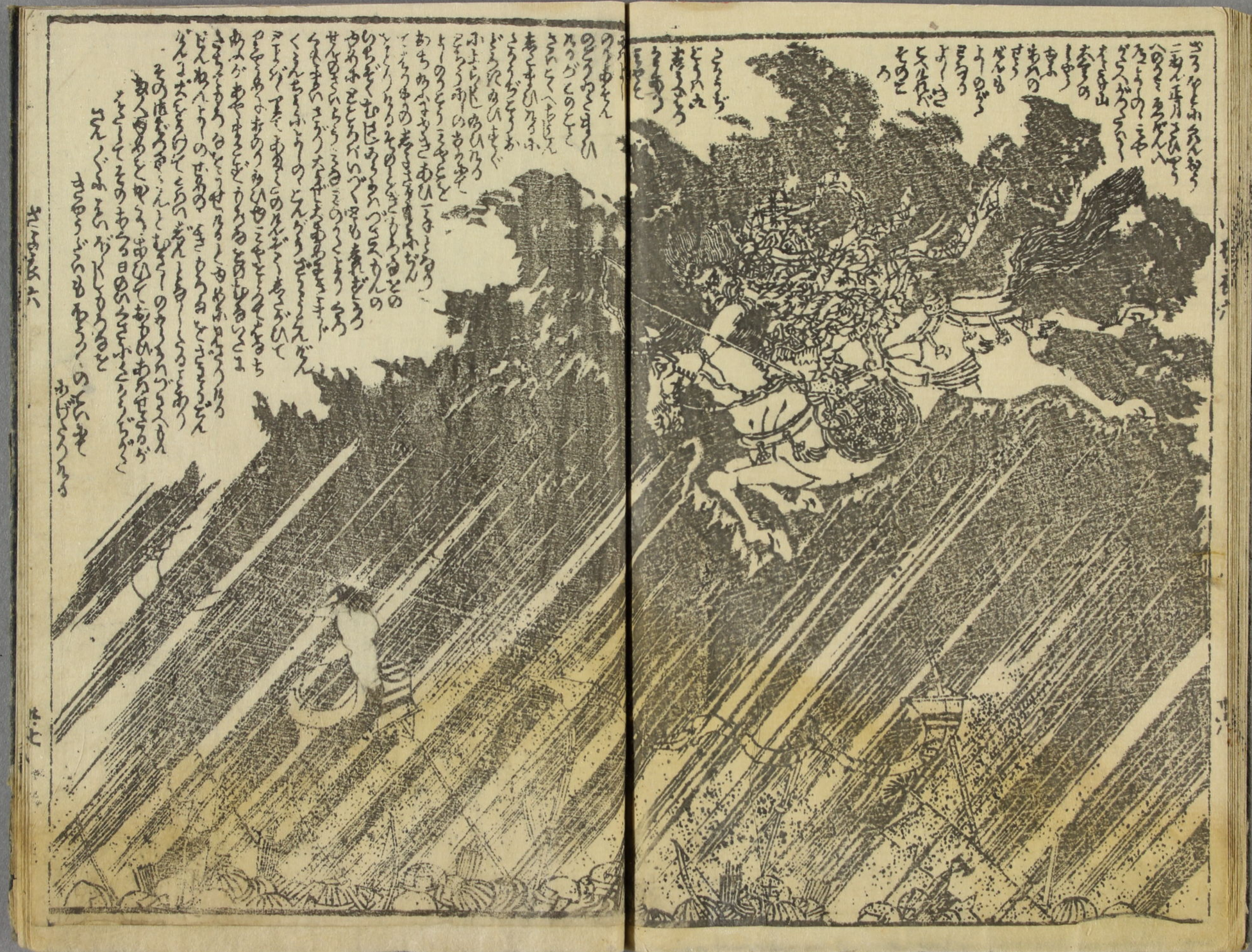
滑稽堂の文内設後編
雑司ヶ谷記行 全二冊
十返舎一九著
英盛堂

東都深川逸民

十返舎一九著

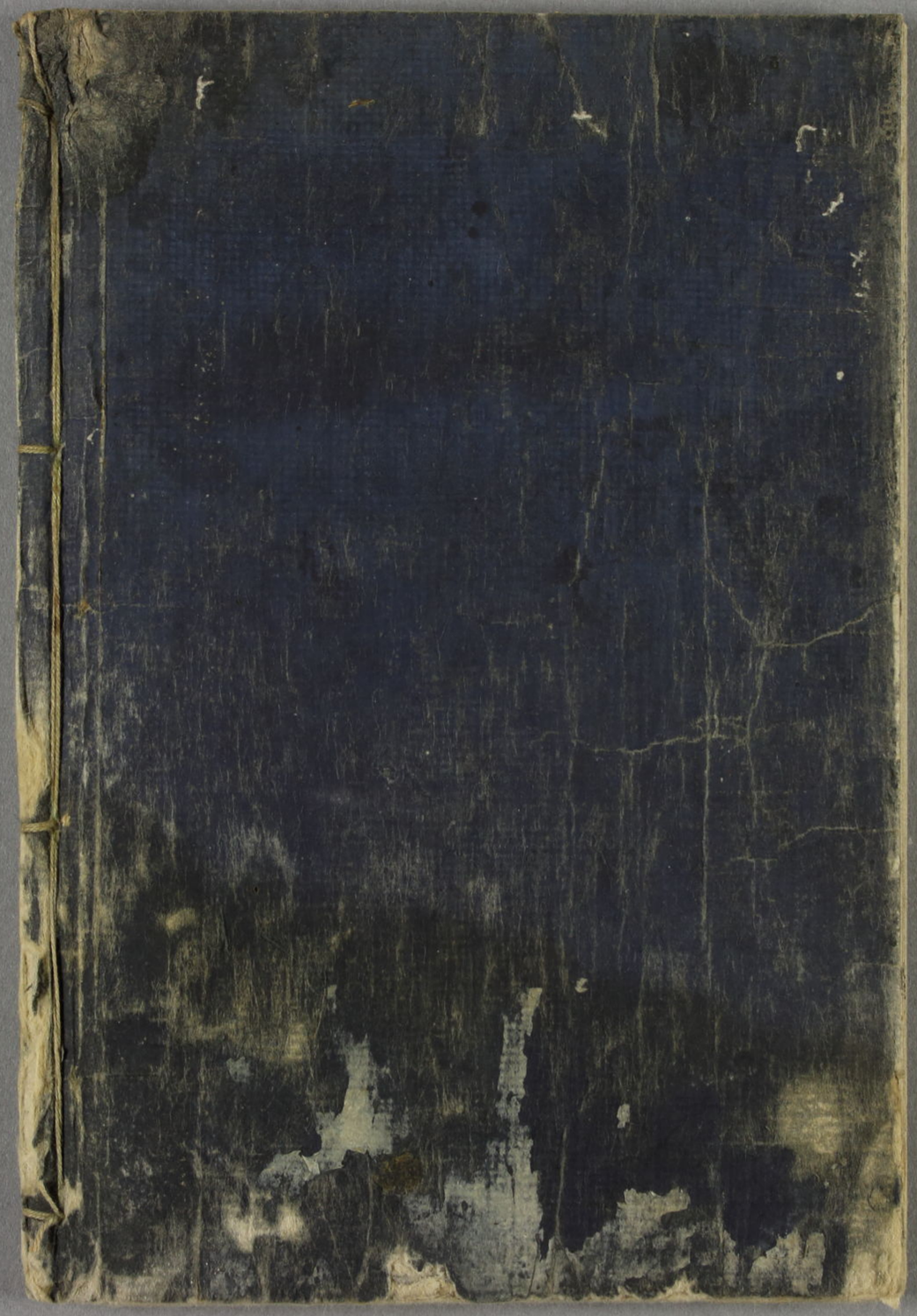
唐土の王昭君越王の君の吳國に赴く事
塩谷の妻の思ひは似たり





十返舎一九著

滑稽誕之内詣　全二冊

後編雜司谷記行　同　二冊

神奈川県立図書館
二丁目地